

南無阿弥陀仏は
私のいのち



〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
http://saitokuji.tobihiro.jp/
発行人 脇阪 義幸
印刷 日生印刷(株) 03-6863-3263



(鎌倉・報国寺)

魂 家 噺

一九六六年に放送が開始された演芸バラエティ番組『笑点』が、今年で五〇周年を迎えた。幅広い年齢層に支持され、最高視聴率四〇・五%を記録するなど、比類のない長寿番組として今も尚人気を博している。

初回からのメンバーで「大喜利」の五代目司会を務めた桂歌丸師匠が八〇歳を迎え、体力的な衰えもあってか五月の収録をもって番組を勇退した。改めて今後の目標を尋ねられると「これからは古典落語をどんどんやる。噺をやるしかない、それが自分の責任だ」と言い切っておられた。

落語業界の重鎮として確固たる地位を築いてきた歌丸師匠だが、近年は肺疾患の悪化で入院を繰り返してきた。そのような状況の中で、敢えて長編の古典に挑もうとしている。師匠ほどの噺家なら、これまで蓄えてきた演目は数知れず、その引き出しを開ければ幾らでも間に合うはずなのに、苦勞を厭わず高座に上がり続けるのは何故だろうか。

お客の笑いが最高の喜びだという歌丸師匠は「樂をしたいから苦しむ」といわれ、過去の経験や地位にあぐらをかくことなく芸道を学び続けることによって多くの落語ファンを魅了し続けている。その姿はまるで「道半ばで腰を下ろすな」と私たちに喚びかけてくださっているようでもある。

(木村 専正 記)

混声合唱団 RARA KORUSO 創団20周年記念演奏会ご案内

混声合唱団RARA KORUSOと申します。この度は、たくさんの方々からご縁を頂き、西徳寺様のご本堂をお借りして、創団20周年記念演奏会を開催させて頂くことになりました。RARAKORUSOでは宗教曲やグレゴリオ聖歌などの祈りの音楽を歌うことが多いのですが、“音楽は音を楽しむ”私やあなたが楽しむ”ところからはなれ、音楽を本来のかたちに“神や死者”にたいする祈りとして行おうと考えました。(礼楽)

プログラムは、イギリスの教会音楽、世界各国の音楽、そして日本の音楽に加え、ゲストに現代創作ダンサー 蜜月稀葵さん(今年4月西徳寺講演「イナンナの冥界下り」のイナンナ役)をお迎えして、音楽と舞踏の祈りのものとなります。

残暑厳しい折ですが、足をお運び頂きまして、東京大空襲の御霊、神仏への祈りの時をご一緒出来ましたなら嬉しく思います。皆様のご来場お待ちしております。(代表 香西 克章)

「混声合唱団RARA KORUSO 創団20周年記念演奏会」

W.Byrd「Mass for three voices」

間宮 芳生「Etudes for Chorus」

武満 徹 混声合唱のための「うた」より 他

指揮・香西 克章 ゲスト出演・ダンサー 蜜月 稀葵

場 所	西徳寺本堂
日 時	平成28年年8月21日(日) 13時30分開場 14時開演
全席自由	2,000円(当日受付にて支払い)
募集定員	50名(先着順)
お問い合わせ	西徳寺 蓮井まで(03-3875-3351)



西徳寺混声合唱団「エコー」 新規団員募集! 未経験者大歓迎!

毎月2回 15時15分より本堂にて練習しています。

台東区合唱祭含めて年3回演奏会で歌えます。

月謝千円 指揮・横山慎吾先生 ピアノ・金澤麻里子先生

詳しくは担当・高橋までお問い合わせ下さい。 **03-3875-3351**

親鸞さんのことば

弥陀の名号となえつつ
信心まことにうるひとは
憶念の心つねにして
仏恩報ずるおもいあり
『浄土和讃』

松井憲一

アメリカからホームステイにきた高校生は、日本人は無宗教の人が多くと聞いてきたが、日本には各家庭に立派な椅子があると感じました。しかし、ホームステイ中、一度も家族そろって椅子にお祈りした姿は見なかったと報告したそうです。いかに立派なお仏壇でも、お参りしなければ、家具と変わりません。お参りして、ご本尊の阿弥陀仏に南無阿弥陀仏ともうして、はじめてわたしのお内仏(生活の中心)になるのです。このご和讃は、『浄土和讃』の冠頭にあげられて、念仏者の生活を教えてくださいます。「弥陀の名号となえつつ」とは、南無阿弥陀仏と称えることです。

南無阿弥陀仏と称えられるようになったのは、前回の和讃に「南無阿弥陀仏をとなうれば 十方無量の諸仏は 百重千重圍繞して よろこびまもりたまうなり」とありましたように、多くの諸仏のお勧めに出遇って、都合たのみの拝み方であったと教えられ、下げたことのないしぶとい頭が下がったからです。

しかし、ようやく頭が下がっても、期待するところは、すぐ頭をもたげます。「弥陀の名号となえつつ、信心まことにうるひとは」といわれるのは、弥陀の名号をわたし信じわたしが称えると思うからです。信心は、わたしの思いで信することではありません。わたしの思いは、「欲もおおぐいかり、はらだち、そねみ、ねたむところ(『一念多念文意』)」のみです。この自分中心の発想が迷いのもとと呼びかけ、目覚めさせ言葉が、弥陀の名号です。それで、信心まことにうるひとはの「まこと」は、仏のまことをいただくこと、弥陀の名号を聞いて、わたしにまことなすと応答することです。

一歳半の初孫を亡くしたおじいさんは、仕事をする気力をなくし、朝夕のお内仏と手次寺へのお参りに明

け暮れていました。しかし半年ほどたつと、それもなくなり、「七回忌の法事は息子たちの仕事です」というようになりました。喉元すぎれば熱さ忘れるのは人の常です。しかし、その後一年ほどしてから『真宗聖典』の書写と、テープ・レコーダーを携えての聞法生活がまた始まりました。弥陀の名号に呼びかけられた信心が、生き生きした生活を生み出したのです。「弥陀の名号となえつつ、信心まことにうるひとは、憶念の心つねにして、仏恩報ずるおもいあり」のご和讃があらわれた姿でした。

まことの信心とは、わたしの思いが破れた「如来よりたまわりたる信心(『歎異抄』)」です。「信心まことにうるひとは、憶念の心つねにして」という憶念は、「明記して忘れず」ですが、これもわたしの記憶力で忘れないうちにはありません。憶念は、わたしの思いの奥底にあつて、弥陀の心がわたしに至りとどいて、弥陀の本願を念じ続けている心のことです。この憶念の心、つまり私心を越えた弥陀の心が、自己中心の妄念妄想に気づかせ、聞法への意欲を生ぜしめるのです。こうして「弥陀の名号となえつつ、信心まことにうるひとは、憶念の心

つねにして」、聞法のご縁となる喜怒哀楽に、弥陀のご恩を感じます。弥陀への感恩は、「仏恩報ずるおもいあり」と報恩となります。仏恩報ずるおもい、それは、弥陀の名号を称える意欲も資格もないものが、無資格のままに弥陀の名号を称えているという感動です。仏恩報ずるおもいは、懺悔をくぐって無限に広がり、今あることのかたじけなさを感じて、南無阿弥陀仏と聞こえてきます。それは、懺悔の身のままの報恩の生活なのです。



山門の言葉

直感は、なくなる

念仏者 藤谷 秀道



先日とあるオーケストラのコンサートの観覧のお誘いをいただいた。普段クラシックを聞かないので詳しいことはあまり分からないのだが、聞き終わった感想はただ単に迫力に圧倒されてしまった。「なんだこの音楽は、こんな音楽があるのか。この曲は何百年も昔からずっと受け継がれていたのか。」感想を述べればきりが無いが、本当に力強いものを感じた。

恐らく藤谷師の言葉を借りて言えば、これを直感というのだろう。耳で聞いた物事は忘れてしまうけれども、心の奥底に「直感」となって焼き付いたものはなくなる。私はあの音をうまく言葉には表せないが、恐らくこれからも忘れることはないと思う。

ところで学生だったとき、よく「ここは大事だから覚えなさい」と言われ続けた。だから、覚えなければと取り組んでいた。しかしそれは理解して覚えたことであって、すぐに忘れてしまう。今ではお寺において様々な方から「仏様の教えを聞け」と言われている。理屈で考える私にとって聞くとか覚えることは、簡単なようで難しいような、よく分

からないことである。

しかし例えば、絵を見て何かを考え、音楽を聞いて何かを思うように、私達は日頃において何かしら感じ取っている。それを直感といい、感動とも言い表せると思う。それを抜きにして、「この絵はこういった技法で……」と語るのはつまらないことである。

思うに、直感を言葉に表したのがお経だと言えないだろうか。お経は大勢の方々の手によって書き残された書物である。親鸞聖人が言葉で顕されていくことと、本当に彰かにしようとしているお心は違うというように、簡単に理解など出来ない。私達が言葉を理解するのは非常に心もとないことである。

しかしながら、お経の言葉からは何か大切なことを伝えたいという想いだけは感じるのである。それは、何となく毎日を過ごしている中で、一体何のために生きているのか、そのこと一つをはつきりさせよという強い願いである。表現は人により様々であるが、その直感はどうなときでもなくなるらないのである。

(高橋 淳記)

日誌

- | | | | |
|-------|--|-----------|---|
| 5月14日 | 社交ダンス練習会、混声合唱団「エコー」練習
同行会「現代の聖典」に聞く 法話 木村主任 | 5月25日 | 婦人会聞法会 |
| 5月15日 | 城南ブロック会総会・聞法会
(大井町きゅりあん・参加者18名) | 5月27日・28日 | 宗祖忌 |
| 5月16日 | 東京教区声明講習会
(長安寺・主任・蓮井・仲井参加) | 5月28日 | 同行会「現代の聖典」に聞く 法話 山崎哲 |
| 5月19日 | 『唯信鈔』に聞く 講師 宗正元師 | 5月29日 | 城西ブロック会総会・聞法会
(中野商工会館・参加者17名) |
| 5月21日 | 定例聞法会、社交ダンス練習会
混声合唱団「エコー」練習 | 6月4日・5日 | 仏教青年会研修旅行
(鴨川方面・参加者11名) |
| 5月24日 | 真任役員会・総代会
仏教青年会『歎異抄』に聞く 講師 宗正元師 | 6月7日・8日 | 中興忌 |
| | | 6月11日 | 社交ダンス練習会、混声合唱団「エコー」練習
同行会「現代の聖典」に聞く 法話 大橋伊知郎 |
| | | 6月12日 | 城北ブロック会総会・聞法会
(川口リリア・参加者21名) |



第 322 号

婦人会専用口座：
名義 西徳寺婦人会
番号 10030 239 82431



～法語カレンダーに聞く～ (2016年7月号)

「ただよくつねにみ名となえ ふかきめぐみにこたえかし」

私たちがみ名(南無阿弥陀仏)をとなえるのは、どんな時だろうか。宝くじを買った時、病気が治って欲しい時。人それぞれであるが、共通しているのは、自分の願いがかなって欲しい時のお祈りの言葉として使っていないだろうか。

願いがかなえばいいが、思い通りにならないと、「こんなものは当てにならない」と愚痴をこぼす。私の思いから出てくる念仏は、唯一でも常でもない。非常に自分勝手な念仏になってはいないか。

真宗の念仏とは、私の思いで祈るのではなく、如来より祈られているはたらきだと教えられる。自己中心的にしか物事を判断できない、その愚かな身に目覚めて欲しいという阿弥陀仏からの願いが、私の口を通して南無阿弥陀仏と涌出する。その一言から、私の全生活をかけて、仏の御恩に答えていけとたえずよびかけられているように思う。(蓮井 邦宗)



次回聞法会ご案内

日時 平成 28 年 7 月 27 日(水) 午後 1 時～ 3 時
場所 西徳寺 星月の間
法話 法語カレンダーに聞く(真宗教団連合カレンダー)
「往くも還るも他力ぞと ただ信心をすすめけり」
最高顧問 大谷 義博・蓮井 邦宗

※8月の婦人会だよりは休刊です。9月の聞法会は9月14日(水)となります。



川柳

七月初旬、かっぱ橋本通りにて七夕まつりがあります。それにちなんで「河童」の川柳を飾ります。

温暖化河童恋して皿を割る	桂子
ほんとかなテレビで見せる河童の手	慶子
隅田川カッパ出てこい孫の夢	多美子



ひとこと

棚を整理していましたが、今までの婦人会だよりが揃ってありました。第1号は昭和62年5月、会長、今井和子さんの時でした。私は、昭和60年頃に入会し、気づけば早30年余り。婦人会と共に歩んできたこの30年、楽しい事も悲しい事も多々ありましたが、今は懐かしく思い出されます。「えこお」同様、お寺で保存してくださるとの事、昔を思い出してくだされば幸いです。(大黒 洋子)

掲示板 平成28年 7月

- 2日(土) 午後6時 同行会「現代の聖典」に聞く
法話 蓮井 邦宗
- 7日(木) 午後6時半 中国曲芸の魅力に迫るⅢ
(西徳寺本堂)
- 13日(水)～16日(土) 孟蘭盆会
(10日よりお盆体制になり、新盆を中心にお宅にお参りさせていただきます)
- 23日(土) 午後1時 社交ダンス練習会
午後3時15分 混声合唱団「エコー」練習
- 24日(日) 午後1時半 中央ブロック会聞法会(西徳寺本堂)
- 26日(火) 午後7時 仏教青年会夏季ミーティング
- 27日(水) 午後1時 婦人会聞法会
- 30日(土) 午後1時 社交ダンス練習会
午後3時15分 混声合唱団「エコー」練習

仏教青年会研修旅行

6月4日～5日、参加者11名で仏教青年会研修旅行を開催し、今回は千葉県の南房総へ向かいました。あいにくの天気でしたが、館山城、赤山地下壕、清澄寺を訪ねました。日蓮上人が得度され、その後立教開宗された清澄寺は、西暦711年に開山された歴史あるお寺で、天台宗、真言宗と時代の移り変わりと共に改宗し、今は日蓮宗の大本山となったお寺です。境内には国の天然記念物に指定されている巨大な千年杉があり、参加者の皆様と長い歴史を感じるひとときでした。



去る5月29日、中野区商工会館において平成28年度城西ブロック会総会・聞法会を開催しました。当日は17名の参加者によって事業報告・事業計画、並びに会計報告・予算案が承認され、28年度の活動方針が決定されました。

聞法会では大谷最高顧問から、念仏ふんだけの信心を得た人を陀利華(白蓮華)という言葉で讃えられ、蓮華は淤泥ぬかるみに生じて清浄な花を咲かせることから、凡夫の身でありながら、どのような境遇にあっても、

編集後記

先日、ご縁があって富山県・南砺市にある「城端別院」の晨朝(お朝事)にお参りさせていただきました。午前6時半からお勤めがあり、そのあと法話会で聴聞させていただきました。

参詣されていたお同行にお話を伺うと、「おかげさまで、もう60年間、ほとんど休まずお参りさせてもらっています」と仰っていました。様々な現実の中で黙々と聞法されているそのお姿に、「黙って教えを聞け」と喚びかけられたようでした。(主任 木村 記)

西徳寺ホームページアドレス：

 <http://saitokuji.tobihiro.jp/>

ゆうちょ銀行お振り込み口座 00120-0-80670 名義 西徳寺

えこお志お礼

目黒区 市川 芳子 様
滋賀県 浄満寺 様 川崎市 大西 千鶴子 様
台東区 大林 藤枝 様 大田区 田村 恵 様
横浜市 佐藤 佳子 様 中野区 霜鳥 宮子 様

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

城南ブロック会 総会・聞法会報告

去る5月15日(日)品川区・大井町きゅりあんにて、総会・聞法会を開催し



18名の方にご参加頂きました。

総会に於いては、昨年度の活動と新年度の行事予定等について報告申し上げ、今後の活動が円滑に進むように皆様にご審議頂きました。

今年度も会員の皆様のご協力のもと、聞法活動を進めて参りたいと存じます。(大橋 伊知郎 記)

城西ブロック会 総会報告

今日一日を生きる喜び、この身を支えてくださるいのちの世界に頭が下がる。それが信心の生活であるとお話しくれました。

懇親会は場所を「炙り谷」に移して開かれ、日頃抱える悩みや仏事に対する質問などが語られ、お互いに意見交換をするなど、大変有意義な時間を過ごすことが出来ました。

今回は11月13日(日)、場所は中野商工会館です。大勢のご参加、お待ちしております。(木村 主任 記)

※「えこお」に対してのご意見・ご感想をお寄せ下さい。(メールでも結構です)

 saitokuji@ce.wakwak.com